
	錦江町立大原小学校 学校だより 令和3年 2月号	
<h1>おおはら</h1>		<small>学校のホームページには、右のQRコードからお入りください。コンテンツメニューの右の+をクリックしてください。</small>
創立134周年（明治20年創立） 合言葉「にこにこ」「ぐんぐん」「ぽかぽか」		

理想に向かう道筋に乗せる＝教育

校長 上原 一宏

私は、中学の頃からバスケットボールをしていました。大学を卒業し、教師になってからも、指導者としてバスケットに携わってきました。中学や高校時代に優秀な監督に恵まれたおかげで、そのときに学んだことを、何の躊躇もなく子供たちに実践していました。一流の監督がしたことを真似てるんだから、すぐに結果に結びつくだろうと思いましたが、なかなか勝てません。その練習はトップダウン方式で、子供たちの個性や希望などを一切受け入れないものでした。事あるごとに指導して、考える力を奪っていきました。試合中、旗色が悪くなるとすぐにタイムアウトを取り、1から10まで対応策を授けてコートに送り出すのです。これが原因で、子供たちは自ら改善し（考え）ようとしなくなりました。

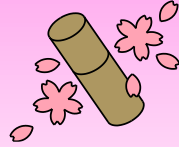
そんなとき、高校時代の同級生から、福岡県の監督を紹介してもらい、丸一日お話しをさせていただきました。この先生は、とある高校を今では毎年のように日本一にされています。その先生のおっしゃったことが今回のタイトルにつながるので紹介します。

「私も若い頃は、経験と勘にだけ頼って指導し、小さなことをガミガミと修正し、100%自分の色に染めるような指導をしてきました。あるとき、才能にあふれたプレーヤーが3人も入ってきました。でももうすぐ1年が経とうとする頃、2人がやめると言い出しました。その2人は、中学時代はチームの司令塔と呼ばれチームで一番声を出す子と、中学時代にすでに190cmを超える身長で、1試合に50点以上を1人でたたき出せるほどの子でした。私は、その3人にも特別扱いはしませんでした。むしろ、中学までに習ったバスケットを捨てさせ、私の色に染めようとはしました。やめると言わなかった1人も1年でほとんど成長せず、レギュラーに定着しませんでした。そのとき目が覚めました。子供の個性を大切に、子供を信頼して任せることができるようにならないと、自分の成長はないと…。それからの私は、指導方針を180°転換して、子供の自主性を重んじるようにしました。練習メニューも基本的には子供たちで考え、試合中のタイムアウトも最初から指示を出すのではなく、子供たちに考えさせ話し合わせるようにしました。そうすることで、みるみる勝てるようになったとともに、**子供たちの生活態度がガラッと変わりました。**」

学校や職場も同じで、新人(子供)に対して自分の価値観ばかりを押しつけると反感を買います。昔は、先生(上司)が言うことは絶対でしたから、逆らうことはできませんでした。今はパワハラで訴えられる時代です。だからといって理想を封印し、何もかも新人(子供)任せでは、いい指導者とはいえません。理想を語るとともに、それに反する言動を行う新人(子供)については、理想に近づくためにはきみの協力が必要だと訴えないといけません。それをしないと新人(子供)は、「見放した」と思い、勝手に振る舞うでしょう。理想に向かうための道筋は、決して線路であってはいけません。舗装された道路でも砂利道でもいいので何本も用意するとともに、一方通行ではいけません。横道に逸れたり逆戻りしたりする新人(子供)と語り合い、理想へと向かわせること、これが教育だと考えます。

～3月の行事～

- 5日（金）なわとび大会，学校保健委員会
家庭教育学級（閉級式），PTA
- 8日（月）大原読書週間（～12日まで）
- 16日（火）田代中卒業式
- 20日（金）春分の日
- 22日（月）卒業式予行
卒業式会場準備
- 24日（水）卒業式
- 25日（水）修了式，辞任式
- 26日（木）PTA 校区送別会（未定）



祈・無病息災 鬼火たき

1月末日大原の鬼火たきが行われました。コロナ禍でも実施できたことがありがたく、今年もすべての厄を取っ払うような勇ましい煙と暖かい炎を浴びることができました。今年、サプライズで花火もあがる演出！さすが大原！互いの健康を願い合う清々しいひとときでした。



しいたけの駒打ち体験！

5日（金）今年も全員で椎茸の駒打ち体験を行いました。大隅地域振興局と田代支所から指導にお越しいただいて、椎茸のお話を聞き、菌を打ち込みました。1年生は初めての体験！2年生以上はさすがに慣れた手つきで作業をする姿が見られました。今年も2～3年前の椎茸を、店頭に並べると瞬く間に売れてしまう人気商品！！



今年の椎茸たちが出てくるのは現4年生が卒業を迎える年の頃。子供たちと同じようにじっくりじっくり育ちます。時間をかけて成長する椎茸も子供たちも大原の楽しみの一つです！

マレーシアより

昨年度、マレーシアのクアラルンプール日本人学校へ派遣でいかれた森永先生より、元気に頑張られているお便りが届きました。



日本を離れたからこそ、日本の良さ、大原の素晴らしさを感じられている様子でした。大原でのお別れから一年・・・

時の流れは早いですね～。

～学校教育に関するアンケート結果～

2学期末に「学校教育に関するアンケート」を児童・保護者・学校運営協議員・職員に実施しました。結果について、学校は年末に考察し、現在、令和3年度教育課程に活かすべく、編成作業が大詰めです。また、先日開いた学校運営協議会でも委員のみなさまとアンケート結果を共有し、学教教育や家庭の願い等に触れながら、地域にできることについて熱心に議論し、前向きな提案や積極的なご支援をいただくことができました。ここにアンケートの一部をご紹介します。（表は「たいへんよい」回答数）

1 読書への積極的な取組について

児童	教職員	保護者	委員
14%	25%	84%	75%

- ・ 校内で読書推進活動を実践中！

2 あいさつの実践について

児童	教職員	保護者	委員
64%	14%	25%	83%

- ・ 時と場に応じたあいさつを学校として指導していきたい。

3 メディアとの関わり方について

児童	教職員	保護者	委員
71%	14%	16%	83%

- ・ 児童と職員・保護者に大きな認識のずれがある。学校、家庭がそれぞれの役割を果たしながら、よりよい活用について学ばせていくようにする。

「にこにこ・ぐんぐん・ぽかぽか」
の学校をめざして・・・